

令和8年度千葉県高等学校総合体育大会サッカーの部 戦評
準決勝 流通経済大柏 vs 中央学院

プレミアリーグ EAST 首位を快走し、圧倒的な強さで連覇を狙う王者・流通経済大柏と、伝統のドリブルに可変型システムを融合させて躍進する関東大会 B グループ王者・中央学院の一戦。試合序盤、中央学院はシステムにとらわれない「湧き出るようなオーバーラップ」から次々とチャンスを作り出し、流通経済大柏のゴールに迫る。しかし、王者の堅守を前になかなかゴールをこじ開けることができない。対する流通経済大柏は、圧倒的なフィジカルと個の強度を武器に着実にペースを握っていく。試合が動いたのは22分。流通経済大柏はDF⑫櫻井のロングスローからゴール前で混戦を生み出すと、前線に顔を出していたDF②大徳が泥臭く押し込み先制点を奪う。さらに畳み掛ける流通経済大柏は37分、中央突破からMF⑩平野が絶妙なラストパスを供給。完全にフリーとなったFW⑱渡辺が左足でワンタッチシュートを鮮やかに沈め、追加点をマークする。中央学院の猛攻を耐え凌いだ流通経済大柏が、勝負所での高い決定力を見せて2点リードで前半を折り返す。

後半、リードする流通経済大柏はハーフタイムに素早く2枚のカードを切る。指揮官のこの交代策がズバリと的中。後半開始早々の41分、FW⑱渡辺がお膳立てとなる絶妙なアシストパスを供給すると、途中出場したばかりのMF⑰工藤がゴール右下へ鮮やかに流し込み、3-0。電光石火の連携でリードをさらに広げ、王者の底力を見せつける。苦しい展開となった中央学院も意地を見せる。53分、得意のパスワークによる見事な抜け出しから決定機を演出すると、最後はMF⑭北田がフリーで渾身のシュートを放つ。中央学院ベンチやスタンドが歓喜に沸くかと思われた決定的な場面であったが、流通経済大柏のGK⑰大泉が指先で弾き出すビッグセーブ。中央学院はあと一步のところまで得点を奪えない。その後、中央学院は持ち前の果敢なアタックで何度も決定機を作りながらも、流通経済大柏がDF④メンディーの抜群の安定感と、プレミアリーグ得点ランキング2位と好調なFW⑱渡辺の1得点1アシストの活躍により3-0のスコアのままタイムアップを迎え、勝負強さを見せつけた流通経済大柏が中央学院を退け、決勝へと駒を進めた。

千葉経済大学附属高等学校 奥寺亮介

令和8年度千葉県高等学校総合体育大会サッカーの部 戦評

準決勝 日体大柏 vs 市立船橋

準々決勝で接戦を制した県内屈指の2校の対戦となった。近年全国でも存在感を高める日体大柏と、伝統と実績を誇る市立船橋。決勝戦をかけた勝負は序盤から互いのスタイルをぶつけ合う一戦となった。

日体大柏は、3-4-2-1の形でボールポゼッションを強めながら前進を試みる。対する市立船橋は4-4-2の布陣で3ラインをバランスよく保ち、前線からの積極的な守備を仕掛ける。序盤は市立船橋が守備からチャンスを作る。日体大柏DFラインのミス突き、FW⑨渡里がシュートに持ち込むもDF④冨舛がブロック。簡単にゴールを割らせない。その後は、互いにボールを回しながら、探り合いの時間が続く。

均衡を破ったのは日体大柏。前半20分、右サイドから攻め上がったMF⑰杉本がクロスを上げる。市立船橋にクリアされるも、そのボールをMF⑥大谷が拾い左サイドからクロス。FW⑨望月がヘディングで合わせ先制。市立船橋のDFラインのマークのズレを見逃さず得点につなげた。日体大柏に流れがいくかと思われたが、前半27分市立船橋が同点とする。コーナーキックのこぼれ球を拾った市立船橋MF⑨渡里が左サイドを突破しクロスを上げる。セットプレーで前線に残っていたDF②篠崎がヘディングで合わせ同点とする。両者流れを渡さず、拮抗した展開となる。日体大柏のサイドを広く使ったポゼッションに対し、バランスを崩さず、コンパクトな守備で対応する市立船橋。互いに主導権を譲らず、前半を終える。

後半、早々にスコアが動く。ファーストプレーで獲得したコーナーキックのこぼれ球を市立船橋MF⑮秋元がミドルシュートを決め、勝ち越しに成功する。さらに、後半2本目のコーナーキック。FW⑱秋山がヘディングで合わせ追加点を決める。セットプレーから優位に立った市立船橋。反撃に出たい日体大柏だったが、市立船橋の流れが止まらない。市立船橋DF②篠崎がオーバーラップからグラウンダーのクロスをあげ、逆サイドから入ったMF⑨渡里が合わせて追加点。さらに、ビルドアップのミス突き、FW⑱秋山が冷静に流し込みこの試合2点目を決める。点差を縮めたい日体大柏は、選手交代を交えながら攻撃の活性化を試みるが、市立船橋の守備の出足が衰えることはなく、集中力のある守備を続ける。市立船橋はMF⑳大和を投入しDFラインへ下げ、フォーメーションを5-4-1に変更。日体大柏MF⑰笹島がドリブルで切り込むシーンやMF⑩安塚を起点に攻撃を仕掛けるが、決定機まで至らず試合終了。市立船橋は、令和6年度以来の流通経済大柏との決勝戦へと駒を進めた。